

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和5年6月20日

事業所名 こばんはうすさくら 草加八潮教室 保護者等数(児童数)10 回収数 10 割合 100%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------------|---|-----|---------------|-----|-------|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 9件 | | | | ・小さい | ・基準スペースを確保しているが、さらに整理整頓などに努めます。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 9件 | | | 1件 | ・実際に活動を目にしていなくてわからない。・様々な専門分野の方がそろっているので安心して任せることができています。 | ・これまで以上にInstagramでの発信を高め、場合により見学などを取り入れます。 |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 6件 | | | | 3件 | |
| 適切な 支援の 提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか | 9件 | | | 1件 | | ・ご利用開始間もない保護者様にとっても分かりやすくお伝えできるように努めます。 |
| | 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか | 9件 | | | 1件 | | ・ご利用開始間もない保護者様にとっても分かりやすくお伝えできるように努めます。 |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 2件 | 1件 | 1件 | 6件 | ・公園に連れて行ってくださるので定型の子と会えていると思う(特に求めてはいない) | ・子どもの多い公園などで接してはいますが、交流する機会をより設けるように検討していきます。 |
| 保護者 への 説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 10件 | | | | | |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか | 9件 | 1件 | | | ・アプリの連絡や送迎時の際、面談でも課題について話してくれます。・家では見せないできる事、できない事、苦手なことにチャレンジしていく様子が分かり助かります。 | ・引き続き保護者様のニーズに合わせた連携の取り方を考えていきます。 |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 9件 | 1件 | | | | |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1件 | 3件 | 4件 | 2件 | ・特に不要。・今の所、保護者会の連絡はないが、こちらも行けるか分からない | |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8件 | 2件 | | | | |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 9件 | | | 1件 | | |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 8件 | | | 2件 | ・新しい施設なので、評価はこれからの為、今まではないと思います。 | |
| 14 個人情報に十分注意しているか | 9件 | | | 1件 | | | |
| 非常時 等の 対応 | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 8件 | | | 2件 | ・コロナ感染症対策のマニュアルは見ました | |
| | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 8件 | | | 2件 | ・週1回の通所の為、他曜日では行っているかも知れません。 | ・これまで以上に全員が訓練できるように、偏りがないように曜日設定に気を付けていきます。 |
| 満足度 | 17 子どもは通所を楽しみにしているか | 10件 | | | | ・施設がキレイで初日から楽しそうだった。先生の手作りおもちゃで知育も取り入れ、楽しそう。・通所しているお子さんと友達になれた。スタッフの方が子どもに対して親身に接して考えてくれるので、毎回楽しみにしています。 | |
| | 18 事業所の支援に満足しているか | 9件 | 1件 | | | ・些細な事でも親子の話を聞いていただき、療育の内容にいかし、成長に繋がっていただいているので、大変感謝しています。 | ・みなさんに満足していただけるより良い施設を創り上げていきます。良いご意見は継続できるように努め、不明点などは十分な説明や見学などで減らしていきます。 |

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年6月20日

事業所名 こばんはうすさくら 草加八潮教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|---|----|-----|-------------|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 8件 | 1件 | | 基準スペースは確保しているので、引き続き整理整頓を行っていく |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 7件 | 1件 | | 常に採用を行っており、面接などを進めている |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 8件 | 1件 | 玄関の3枚扉などの工夫 | 構造上省けない柱などの角にクッションを設けている |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 1件 | 6件 | | 個別支援計画をもとに計画・実行を行っているが、チェックと改善があいまいになってしまっていることがあるので、全員で共有し広く職員が参加できるようにする。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6件 | 1件 | | 2022年7月開所の為、今後行っていく。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 2件 | 4件 | | 2022年7月開所の為、今後行っていく。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 6件 | 1件 | | 本部SVのアドバイスを活かすなどの努力を行っている。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 4件 | 4件 | | 基礎研修は行っているが、応用なども取り入れ、職員のスキルアップを目指す。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 7件 | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6件 | 1件 | | 今一度、全員で標準化ツールを共有していく。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 7件 | | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 7件 | | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 7件 | | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 7件 | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 8件 | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5件 | 3件 | | 送迎後、タイミングが合った職員間での共有が多いので、振り返りが行える時間を設けるように努力する。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 7件 | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 6件 | 1件 | | 全員で共有し広く職員が参加できるようにする。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 7件 | | | |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7件 | | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 9件 | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 5件 | 1件 | | 現状受け入れなし。今後、必要に応じて向けて検討する。 |

| | | | | | | |
|--------------|------------------------------------|--|----|----|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 6件 | 1件 | | 今後より一層、情報共有と相互理解に努めていく。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 5件 | 1件 | | 今後より一層、情報共有に努めていく。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 6件 | 1件 | | 情報共有は適宜行っているため、研修も含めて検討していく。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 5件 | 3件 | | 外出先での交流はあるので、計画的に取り入れるように活動計画を考える |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 5件 | 1件 | | 協議会には参加しているので、広く職員で情報共有を行うようにしていく。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 7件 | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 1件 | 6件 | | 職員のペアレント・トレーニングのスキル向上を目指し、支援ができるように体制を整えていく。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7件 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 7件 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 1件 | 6件 | | まだ望まれている方は少ないのが現状だが、今後の可能性を検討していく。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 6件 | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6件 | | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 6件 | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7件 | | | |
| 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 7件 | | | 今後はより地域とも連携し、交流を図っていく。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 4件 | 3件 | | 広く職員や保護者様に周知していく。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 7件 | | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7件 | 1件 | | 本部研修はしっかり行っているが、さらに広く職員に周知し、徹底していく。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 6件 | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6件 | 1件 | | 該当している児童はいないが、今後の可能性を踏まえて検討する。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 7件 | 1件 | | 日々ヒヤリハットは記入しているので、職員間での共有を強化していく。 |